

加工用・業務用野菜の 需要動向等について

2025年3月12日

コープ東北サンネット事業連合
村上 寛哲

1、みやぎ生協の野菜売上順位

現状の店舗での野菜の売り上げを確認しておきます。
ここ数年の傾向を見ると少しずつですが変化が見られます

16年：野菜売り上げベスト10位

1位：トマト	構成比6.1%
2位：きゅうり	構成比4.3%
3位：玉ねぎ	構成比4.1%
4位：人参	構成比3.7%
5位：カットサラダ	構成比3.4%
6位：じゃがいも	構成比3.3%
7位：ぶなしめじ	構成比3.2%
8位：ブロッコリー	構成比2.9%
9位：キャベツ	構成比2.8%
10位：ほうれん草	構成比2.7%

24年：野菜売り上げベスト10位

1位：トマト	構成比5.5%
2位：カットサラダ	構成比5.0%
3位：玉ねぎ	構成比4.8%
4位：きゅうり	構成比4.4%
5位：ミニトマト	構成比4.0%
6位：人参	構成比3.6%
7位：ブロッコリー	構成比3.5%
8位：キャベツ	構成比3.2%
9位：じゃがいも	構成比3.0%
10位：さつまいも	構成比3.0%

1、みやぎ生協の野菜売上順位

現状の店舗での野菜の売り上げを確認しておきます。
ここ数年の傾向を見ると少しずつですが変化が見られます

■1位のトマトは、以前より構成比は落ちていますが、引き続きNo1の実績で、さらに、ミニトマトが伸びていますので、トータルでは断トツです。

■2位のカットサラダは、飛躍的に伸びています。簡便性、ごみにならない、値段が変わらないので安心して買えることが認知されています。

■7位のブロッコリーは、順位は1つしか上がっていませんが、構成比は0.6%も上がっています。ここも、栄養価が高いことが認知され、年々、構成比が上がっている商材です。

1、みやぎ生協の野菜売上順位

現状の店舗での野菜の売り上げを確認しておきます。
ここ数年の傾向を見ると少しずつですが変化が見られます

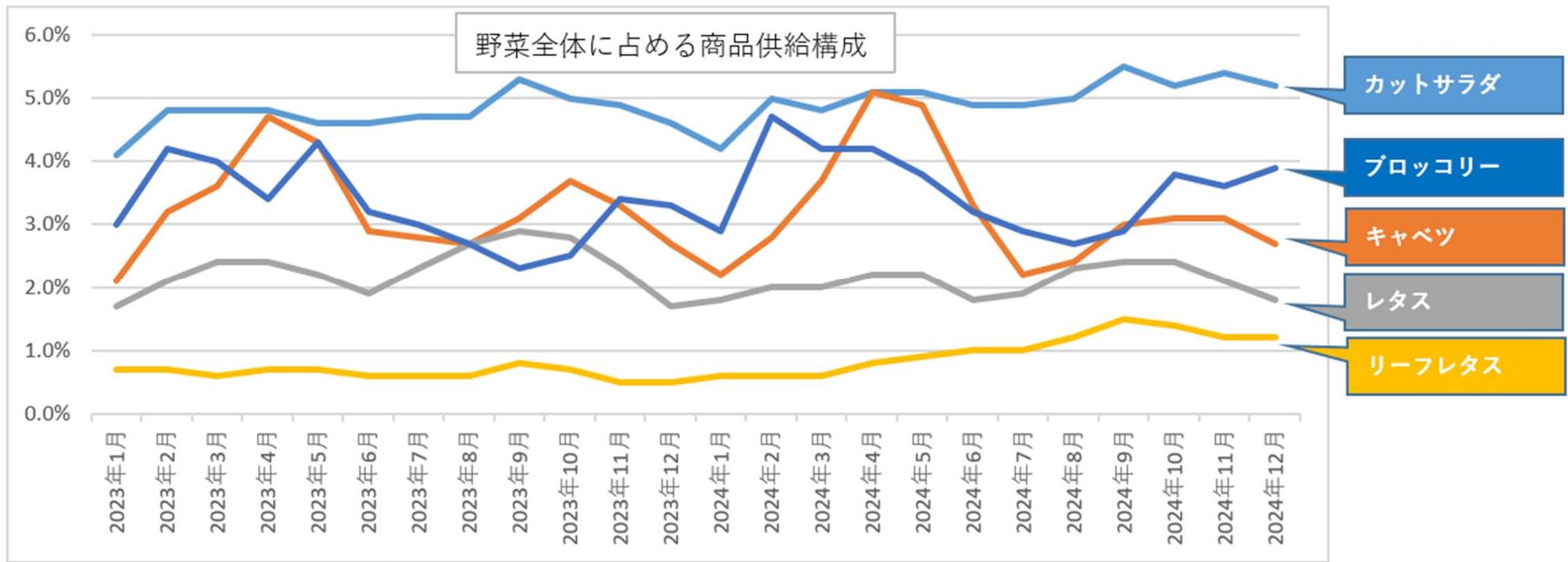
■8位のキャベツは、年によって相場の影響を受けやすい商材で、乱高下はあるものの安定して利用があります。

■10位のさつまいもは、圏外からランクイン。ここ数年で、焼きいも文化が定着し、貯蔵技術も確立され熟成(糖化)した美味しい(甘い)さつまいもが認知され、スイーツ感覚で食されるようになりました。

■芋玉人参については、これも、用途が広く常備品になっているためキャベツ同様に相場の影響で乱高下がありますが、外せない商材です。

2、カットサラダと関連する野菜の推移

カットサラダと関連する商材の供給推移を確認します。
相場の影響は多少見られますが、カットサラダの安定した高さが分かります。



ブロッコリー、リーフレタスも直近では大きく伸びてきていることも注目点です。

2025/3/12

3、売り上げ推移から考えられること

過去と現状の比較した中で、今後、求められてくると思われる野菜について確認しておきます。

①**カットサラダ**は、今後も安定して利用が出る商材となります。その関連する業務用の**キャベツ**、**レタス**などは、作柄の影響を受けやすい商材ですが、非常に求められてくると思われれます。

②**ブロッコリー**は、指定野菜になったこともあり、注目度は上がっています。売り上げも年々上昇傾向です。今後、業務用の取り組みも活発化してくると思われれます。(冷凍、カットブロッコリー など)



より簡便性を求められ、カットされている、ボイル済み等が今後、拡大されてくると思われれます。

3、売り上げ推移から考えられること

過去と現状の比較した中で、今後、求められてくると思われる野菜について確認しておきます。

■**ブロッコリー**は、指定野菜になったことで、今後も間違いなく面積は増えてくると思われます。その中で、求められるのは、品質です。

- ・大きさ(今の時期の九州・四国産位)
- ・形(凹凸が少なくドーム状)
- ・鮮度(予冷がしっかりされている)

■上記の点が非常に重要になってくるので、土づくりはもちろんですが、品種の選定、予冷施設が非常に重要です。



求められる形状



求められない形状

3、売り上げ推移から考えられること

過去と現状の比較した中で、今後、求められてくると思われる野菜について確認しておきます。

③リーフレタスの需要が一気に増加しています。安定供給が求められており、工場野菜として今後も伸びてくると思われます。



④さつまいもは、焼き芋ブームで、美味しい、食べたくなる商品が求められます。今後、東北産地でも貯蔵技術、美味しい品種、ブランドの確立がされれば取り組みも活発化してくると思われます。



3、売り上げ推移から考えられること

過去と現状の比較した中で、今後、求められてくると思われる野菜について確認しておきます。

■ **さつまいも**は、青果そのまま販売と、焼きいも、干し芋で販売が出来る商材。さらに、惣菜原料(大学芋、スイーツ)でも使用出来る商材です。

■ 東北の産地では、現状、商流に乗るような産地は、ほぼ確立されていないのが現状です。貯蔵施設、規格の確立が出来れば、伸びしろは大きくあります。



4、その他、生協として求めていくこと

加工用・業務用の杣を拡大し、地域の特産を作り上げることが、重要と考えています。その中で、一部、求めている商材を紹介してきたいと思います。

(1) 【加工用いちじく】

- ①震災復興を目指した2011年に古今東北の前身でもある「宮城の復興プロジェクト」で思いを実現したく、宮城県の各所にいちじくを植えて欲しいとスタートして、7年後から少しずつ増えてきた作物
- ②加工用いちじくは、実は全国的に加工用では栽培されておらず、東北特有の商材で、私が知っている限り宮城、福島、山形、秋田、岩手で栽培されて食されています。
- ③耕作放棄地の有効活用で、栽培可能な商材と考えています。

4、その他、生協として求めていくこと

加工用・業務用の枠を拡大し、地域の特産を作り上げることが、重要と考えています。その中で、一部、求めている商材を紹介してきたいと思います。

(1) 【加工用いちじく】



加工用いちじく



いちじく甘露煮

4、その他、生協として求めていくこと

加工用・業務用の枠を拡大し、地域の特産を作り上げることが、重要と考えています。その中で、一部、求めている商材を紹介してきたいと思います。

(2) 【正月飾り】

- ①各地域で正月飾り(しめ縄、輪通しなど)は、造り手がいなく、現状では風前の灯火状態です。
- ②そのため、悲しいことに中国産がほとんどになっています。これでいいのか...?と思っています。
- ③農福連携で、出来るのではないかと。ここは、是非進めていきたい取り組みです。

4、その他、生協として求めていくこと

加工用・業務用の枠を拡大し、地域の特産を作り上げることが、重要と考えています。その中で、一部、求めている商材を紹介してきたいと思います。

(2) 【正月飾り】



4、その他、生協として求めていくこと

加工用・業務用の枠を拡大し、地域の特産を作り上げることが、重要と考えています。その中で、一部、求めている商材を紹介してきたいと思います。

(3) その他、惣菜原料で求められているもの

① **美味しい葉物(ほうれん草、雪菜)**は、おひたし、ごま和えなどでメニュー提案されます。

② **あさつき**は、年々作付け減少し、惣菜だけではなく、青果でも売れる状況ではなくなっている。以前商品化したものの中々原料手配が困難になっています。

5、最後に

10年後、20年後も残していきたい商品は、多数あります。青果販売を継続出来るように、加工用・業務用と合わせて取り組みが出来ないか進めていきたいと思えます。

(1) 青果含め残したい商品

①宮城は、七草セット、仙台・河北せり、曲がりネギ、仙台白菜は、残さなければいけない。

②その他、福島あんぽ柿、山形山菜各種、土垂れ里芋、だだちゃ、秘伝豆、秋田山菜各種、三関せり、じゅんさい、きりたんぽ、青森にんにく、長芋、ごぼう、毛豆、岩手根みつば、滝沢すいかなどは、絶やさない取り組みが必要になります。